

コンロ型	TG-4	TG-9	TG-12	TG-15	TG-9J	TG-12J	TG-15J
釜土型	TGB-4	TGB-9	TGB-12	TGB-15	TGB-9J	TGB-12J	TGB-15J

取扱注意書

**この商品は
業務用です！**

設置上の注意

TG型

TGB型

①当器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスと同一であることをご確認の上、設置して下さい。

- ①注1 銘板は器具の混合管部分に貼付してあります。
- ①注2 ガス種が異なる時は、ご使用にならずに器具をお取替え下さい。
- ①注3 プロパンガス(LP)ご使用の際は、ガス圧表示(注1)に従って低圧の範囲内にてご使用下さい。

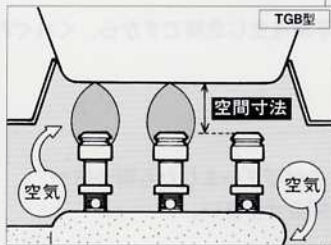
②壁等が可燃性の場合(断熱材使用の場合も)周囲の可燃物より20cm以上離して設置して下さい。

③床面は不燃構造とすること。

②当器種は釜土型タイプです。必ず不燃構造のステンレス製釜土、又は耐火モルタル製釜土等の中にセットしてご使用下さい。尚、バーナーヘッドから鍋底までの空間寸法は下記の通りです。この範囲内で設置して下さい。

TGB-4	TGB-9	TGB-12	TGB-15
.....50~60mm			
TGB-9J	TGB-12J	TGB-15J	
.....70~80mm			

③釜土の中の燃焼室部分は給排気が充分にとれる構造(出来ればバーナーを置く底部は、下からの空気の流通が充分とれる開放構造)でバーナーのcock部分は釜土の外に置くよう設置して下さい。



サントクの商品は業務用として設計されておりますので普通の家庭用コンロより火力が強力です!!この事を常に意識していただき、調理中にその場を離れたり、お子様に使用させたりするのは危険ですので止めて下さい。

設置上の注意

TG型

TGB型

④バーナー本体が金枠に正しくセットされ、ゴトクが金枠にズレないようにセットされているかご確認下さい。

①注1 各器種毎の使用ゴトクの指定は下記の通りです。

器種	使用ゴトク	通常使用
TG-4	平型ゴトク	
TG-9	立型、平型ゴトク	立型
TG-12	立型、平型ゴトク	平型
TG-15	立型、平型ゴトク	平型
TG-9J	立型ゴトク	
TG-12J	立型ゴトク	平型は不可
TG-15J	特立型ゴトク	

①注2 ゴトクを外して金枠、及びバーナーに鍋等を直接載せてのご使用は、絶対に行わないで下さい。

①注3 ノズル(立っているバーナー部分)は固く締めすぎず、半回転程ゆるめた状態でセットしてご使用下さい。掃除の際の取外しが楽で、半回転程度ではガスもれの心配はありません。

⑤ゴム管の接続は正しく奥まで差込み、ゴム管止めてしっかりと固定して下さい。

①注1 『JISマーク』のゴム管(ガス用)をご使用下さい。

①注2 折れやねじれ、引っ張り等ないように必要限度の長さでご使用下さい。

①注3 ゴム管の太さは、器具ゴム管口の太さと同一のものをご使用下さい。

⑥ガス管等にての直接の接続は、ガス工事に依りて行って下さい。

設置上の不明な点がございましたら販売店が直接当社までお問合せ下さい。

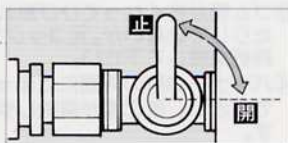
使用上の注意

TG型

TGB型

①ご使用前の確認と準備を正しく行って下さい。

- ①注1 バーナー本体、ゴトク等が正しくセットされているかご確認下さい。
- ①注2 ゴム管の接続状態に異常がないかご確認下さい。
- ①注3 器具のガスcockが閉じていることを確認の上、元cockを開けて下さい。



②点火はマッチ等で、メインバーナーに着火させて下さい。

- ①注1 メインバーナーへの着火時は調理に使用する鍋等を載せて行って下さい。
- ①注2 初めて使用する時、しばらく使用しなかった時等にはゴム管内の空気が入っておりますので、空気抜きのために点火操作を繰返して下さい。

③空気調整は固定式ですので、日常の空気調整は行えません。従って最初の器具設置時に点火テストを行って下さい。

- ①注1 炎が飛んで着火しにくい場合や先端に黄色い炎が出る場合は、供給ガスの圧力や供給量、ガス種を再度チェックし、正しいガスの供給状態を確保して下さい。
- ①注2 火力の調整は原則として弱火等は出来ません。基本的にはメインcockを全開か、消すかのどちらかで弱火状態を5~10分以上続けると、炎口部分等にススがたまるので充分ご注意ください。

④日常使用時に、炎の状態に変化が起きてきた時は「点検・お手入れの注意」に従って、点検・お手入れを行って下さい。

⑤ご使用中は、危険ですので器具のそばを離れないで下さい。

⑥ご使用中、及び直後は器具の温度が高くなりますので、ガスcock以外は触れないで下さい。

⑦狭い部屋、締め切った部屋でのご使用や長時間のご使用時には必ず部屋の換気が必要です。時々窓を開けたり、換気扇を回して換気を行って下さい。尚、窓のない部屋には必ず換気口を設けて下さい。

⑧消火時はバーナーcockを完全に閉じ、必ず消火を確認し、使用後は必ずガスの元cockも閉めて下さい。

日常の点検・お手入れの注意

①点検・お手入れは、器具が充分に冷えてから行って下さい。

②点検・お手入れは、定期的に行ってください。

- ①注1 炎口部の目づまり掃除 日常的に毎日くらい
- ①注2 ノズルチップの目づまり掃除 一週間に一回くらい

③ゴム管が古くなってひび割れたり、折れ曲がったり、器具に触れていたりしていないか。元cockやゴム管口に充分に差込まれているか、時折点検して下さい。

④バーナー本体と金枠の間等(TG型)や本体の周囲(TGB型)にたまった煮こぼれ汚れは、常に早めに除去して下さい。気化管が腐蝕しやすくなり、ガスもれの原因にもなります。

器具の異常と対処方法

こんな異常の時	考えられる原因	対処方法
気化管、ジョイント、前管からのガスもれ		販売店へ連絡を
cockからのガスもれ	グリスの消耗	グリスを補充
	cockの柄子の下のネジのゆるみ	ネジを締める
炎のぼろつき燃焼や炎口部分にススがたまる	炎口部分の煮こぼれ、目づまり	炎口部分を金ブラシで掃除
	ノズルチップの煮こぼれ、目づまり	ノズルチップを細い針金等で掃除
燃焼不良	コンロの周囲を開いたりして空気が流れない	コンロの周囲に空気の流通路を常時確保する

ご使用中にご不審な点がございましたら直ちに使用を中止し、点検をしていただいた上で、販売店が当社までご連絡下さい。